

事例 1

福岡県北九州市（早稲田大学）

理工系

トップ交渉と事務局レベルのきめ細かい交渉により国際的なキャンパスを実現

事例の概要

- 北九州市は当時の重要施策の一環として「北九州学術研究都市」を掲げ、地域内外の理工系大学・研究機関を集積し、地域企業との官民学連携に取り組んでいます。
- 早稲田大学北九州キャンパスは、大学院情報生産システム研究科を中心とする国際的な研究・教育機関であり、学生の多くが留学生である点が特徴となっています。

福岡県 北九州市

基礎データ

- 人口：937,975人
- 面積：491.69km²
- ※北九州市HPより
- 都市特性
北九州学術研究都市を掲げ、地域内外の研究機関と地域企業の官民学連携が盛んになっています。



キャンパス設置前の課題

- 市内の人口分散開発の展開による有効な施策の必要性
- 北九州学術研究都市における協力大学の検討

早稲田大学

基礎データ

- 設立年：1882年
- 本拠地：東京都新宿区
- 学生数：47,959名（2020年度）
- 学部：政治経済学部 教育学部 等
- 他地域のサテライトキャンパス：
埼玉県所沢市 埼玉県本庄市

キャンパス設置前の課題

- 大学院設置にあたっての設置場所の検討
- 国際的な教育・研究機関を設置できる立地の検討

早稲田大学北九州キャンパス

基礎データ

- 設置年度：2003年度
- 学生数：530名
- キャンパス面積：3.8ha
- 設置研究科：大学院情報生産システム研究科

設置にあたっての地方公共団体からの支援

設置前支援

- 設置に係る校地・校舎に関する大学側との連携
- 北九州産業学術推進機構（FAIS）を通じた学生募集支援

設置後支援

- 早稲田大学IPS・北九州コンソーシアムの展開支援

キャンパスの特徴

- 早稲田大学大学院情報生産システム研究科を中心とする北九州キャンパスは、アジアを中心に世界各国から学生が集う国際的な理工系キャンパスです。
- 北九州市内の他大学や企業等と連携した研究開発である「IPSコンソーシアム」を展開し、地域との連携を盛んに行っています。

サテライトキャンパスの誘致・設置の沿革

年度	内容
1988	北九州ルネサンス構想（市基本構想）策定
1989	北九州学術研究都市基本構想策定
1991	北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業着手
1998	早稲田大学理工学総合研究センター進出の基本協定締結
1999	早稲田大学に新大学院設置の要請を実施
2001	早稲田大学大学院進出の基本協定締結
2003	早稲田大学大学院情報生産システム研究科 開設

キャンパス設置の効果と課題

- ・北九州市では、学術研究都市の構想を中心とした施策展開により、大学キャンパス周辺の開発が進み、当時の目的であった人口分散や新たな拠点づくり等の効果が表れています。
- ・また、大学の理念である「地方で活躍する人材育成」の実現に向け、早稲田大学では地域連携型推薦入試制度等を実施し、地域の地理的条件を活かした地域連携型教育が導入されています。



早稲田大学北九州キャンパス 外観

キャンパス設置の効果

- ・北九州学術研究都市周辺の開発の進行（住宅の新設や商業施設の進出等）
- ・学生・教職員の増加による地域内の理工系施策の発展
- ・地域内企業・大学との共同研究の実施

キャンパス設置後の課題と施策

- ・地方で活躍する人材育成のため、地域連携型推薦入試を大学側で実施しています。

誘致のポイント

① 基本計画・基本構想への大学誘致計画の記載

- ・本誘致計画に際して、「北九州市ルネサンス構想」「北九州学術研究都市基本構想」といった地方公共団体による計画・構想の発表が行われています。
- ・地方公共団体の計画に大学誘致の方向性を記載することで、市全体で誘致を行っていく機運を醸成しています。



② 2度にわたる連携協定の締結

- ・本誘致では、「早稲田大学理工学総合研究センター進出の基本協定」（1998年）、「早稲田大学大学院進出の基本協定」（2001年）の2回にわたって連携協定が締結されています。
- ・1度目の協定では進出の方向性を大学と確認し、2度目の協定で具体的な進出の内容について触れることで、段階的な大学誘致を行っています。

③ 大学のニーズに合った誘致支援の展開

- ・本誘致にあたり、北九州市では大学に対して土地・建物等に対する支援を行っていますが、支援にあたっては大学側と緊密な協議を実施し、大学のニーズに合わせた支援を展開しています。
- ・また、就職支援に関しては、北九州市が支援している公益財団法人「北九州産業学術推進機構（FAIS）」による留学生向けの就職支援講座等のプログラムが展開されるなど、大学側のニーズにも対応しています。